

すべてのいのちと暮らしを守りたい

市民アンケートに寄せられた声です

国保料が高すぎます。年金から天引きされては生活やっつけられません。

特養ホームに入りたくても入れない。困っている人がたくさんいるのに。ぜひ増設してください。

東京から越してきて、子どもの医療費無料化が遅れているのにビックリ。早く中3まで無料にしてほしい。

助けられた命…みんなを助ける仕事に

台風で、「九死に一生」

九州・鹿児島、いまは曾於市になった旧・末吉町生まれ。自然に恵まれた環境のなかで、のびのび育った「自然児」でした。中学では生徒会副会長を務めました。中三のとき、集中豪雨でわが家が全壊。救急隊に助けられ、20日間の入院生活を送りました。そのとき、「助けられた命、看護婦になろう」と決意しました。県立末吉高校では、ソフトボール部に熱中する一方で、新聞配達などで家計を助けました。

医療ボランティアとして 阪神大震災の現場へ

「何か手助けしたい」の一心で、東神戸病院に駆けつけました。医療救護班として被災地を訪問。ボランティアのみなさんの献身的奮闘と、被災者が助け合う力強さに感動しました。



とりあげた赤ちゃん960人 健やかな成長を願っています

助産師として28年間、とりあげてきた赤ちゃんは960人。その都度、健やかな成長と幸せを願ってきました。いま、くらしや子育てに悲鳴があがっています。『子どもは社会の宝』。安心して出産・子育てできる環境を、この松戸でこころしよにつくっていきましょう。



地域で子育て相談

「ウンチが3日も出ない」「麦茶は水でつくっても大丈夫？」…地域の若いお母さんを相手に、子育て相談をしています。深刻になるかもしれない相談もあります。お母さんのすぐ側にいて支え、アドバイスできる公的な仕組みが必要です。

母と子の
しあわせが
私の原点です



くらしや介護、子育て…なんでもご相談ください

党松戸市医療・福祉相談室長 ☎349-1544

日本
共産党

山口正子

旭岳(北海道)

山登りは何よりのリフレッシュです

「しろくま」くん

これが本物！九州名物アイス「しろくま」くん。おもわずニッコリ！

産科廃止しないで！と運動

看護師不足は深刻。疲れ果てて辞める人が後を絶たず悪循環。待遇改善は急務です。

母親大会で支援を訴え

母親大会で、産科存続・男女差別撤廃などの取り組みを報告。